

HOPE^{plus}

[市立芦屋病院だより]



副病院長就任のごあいさつ

暖かい陽光がさす山の上の病院

副病院長

あら きの のぶ ひと
荒木 信人



この度「暖かい陽光がさす山の上の病院」の副病院長を拝命致しました荒木信人と申します。私は幼少時、自家中毒になったり海で溺れて肺炎になったりして、頻回に長期入院生活を送っていました。自分自身の病気への恐怖や死への不安を払拭したくて医師を目指し、前任地である大阪国際がんセンター(旧大阪府立成人病センター)では18年10ヵ月の間、整形外科・リハビリテーション科部長として勤務し、骨軟部腫瘍やがんの骨転移の患者さんを診させていただきました。しかし自分が年をとるに連れ、高回転医療や超高齢化社会での健康の意味について考えさせられる事も多く、この度、生まれ育った地に近い当院での勤務を希望させていただいた次第です。市立芦屋病院では公的病院としての市民への果たすべき役割を探求し、迅速な骨折治療、超高齢社会における健康維持、個々の患者さんの人生設計に基づく医療、そしてがん医療と緩和医療の融合などを目指し職責を全うする所存です。ご指導ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

略歴

昭和59年 大阪大学医学部卒業
大阪大学医学部附属病院
整形外科研修医
昭和60年 住友病院整形外科医員

昭和61年 防衛医科大学校整形外科医員
平成2年 米国テネシー大学生化学教室研究員
平成4年 大阪大学医学部整形外科医員
平成10年 大阪府立成人病センター整形外科部長

専門分野

骨軟部腫瘍
がんの骨転移
リハビリテーション

新任Drのご紹介



緩和ケア内科部長
まつだ よしのぶ

松田 良信

専門分野

緩和ケア

趣味

旅行、食べ歩きなど

先生から一言！

はじめまして、8月1日より緩和ケア内科に勤務することになりました。市立芦屋病院は、事業管理者、病院長をはじめとして、緩和ケアに熱心な方々が多いとお聞きしております。市民の皆様のご希望に沿えるよう努力いたします。どうぞよろしくお願いいたします。



臨床研修医
せがわ こうへい

瀬川 浩平

専門分野

血液内科

趣味

音楽鑑賞

先生から一言！

4月から血液・腫瘍内科に赴任しました瀬川浩平です。赴任してからはがん診療を中心に基礎的なことを行ってきました。これからは専門的なことも含めて患者さんの立場に立った治療ができるように努力していきたいと思っております。よろしくお願い致します。

血液・腫瘍内科のご紹介

当院の血液・腫瘍内科は平成29年7月現在4名の医師が在籍しており、3名が日本血液学会血液専門医、2名が日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医の資格を有し、「血液内科」と「腫瘍内科」を統合した診療を行っています。

血液内科領域では白血病・骨髄異形成症候群・悪性リンパ腫・多発性骨髄腫などの造血器悪性腫瘍に加えて、貧血疾患・血小板減少症などの良性的造血器疾患の診療も行っています。

腫瘍内科領域では大腸癌・肺癌・乳癌・卵巣癌・胃癌・膵癌など固形癌の化学療法を中心に診療を行っています。

これらの疾患が治癒を目指せる状況であれば、最良の効果を追求した治療を行いますが、残念ながら治癒を目指すことのできない状況でも、治療期からの緩和医療を取り入れながら、患者さん・ご家族ごとの治療目標を達成できるように重点を置いて診療を行っています。

血液・腫瘍内科は「抗がん剤治療を行う診療科」というイメージが強いかもしれませんが、我々は「治療を介して患者さん・ご家族のライフサポートを行う診療科」を目指したいと考えています。



緩和ケア病棟より患者さんのメッセージをお届けします

緩和ケアとは、がんに伴う痛みをはじめとする身体的な苦痛や気持ちのつらさ、精神的な不安をできるかぎりやわらげるケアです。また、患者さんの意思を尊重し、その人らしく充実した日々を送れるような援助を行います。

今回、当院の緩和ケア病棟にご入院中の患者さんより、今後緩和ケアを必要とされる方へ応援メッセージを届けたいといったご意見をいただき、広報誌にメッセージを掲載させていただくことになりました。

山田 健二 様からのメッセージ

「夢は最期の最期まで諦めなければ叶うのです」

緩和ケア病棟入院中の山田と申します。普段は、車椅子で過ごしています。

先日私は、「故郷に植樹をしたい」という夢を実現することができました。

実際に、故郷には行けないのですが、「大好きな故郷への想い」を手紙に乗せて届ける作業をスタッフの皆さんに手伝ってもらいました。手紙の準備が難しく、何度も中断しそうになりましたが、この度、私の想いは故郷に届き、近々「桜の木の植樹」に向けた取り組みが始まります。

ここでの生活で私は、「自分の価値観を、相手に押し付けたままにしないこと」の大切さに気づきました。「もうできないかもしれない」という思いはスタッフの皆さんとの関わりの中で「できるかもしれない」に変化し、その結果「夢の木」が今、私の心の中に見えています。相手を信じていることができた体験は、私の精神的な成長を助けてくれたと感じています。今は自分に関わる全ての人々に感謝、妻にも「かおるちゃん、ありがとう！」って声に出して言えるようになりました。緩和ケア病棟は辛くて暗い場所ではありません。これから緩和ケアを受けられる皆様には、ぜひ安心していただきたいです。



当院の緩和ケア病棟では、患者さんやご家族の大切な時をよりよく過ごしていただけるように、医師、看護師をはじめ、薬剤師、管理栄養士、ソーシャルワーカー、理学療法士、作業療法士、ボランティアなどのさまざまなスタッフがあたたかく思いやりのある医療とケアを提供しています。

緩和ケアに関するご相談は、地域連携室までお問い合わせください

教えてDr!

「実はコワイ歯周病について」



芦屋メディカルコミュニティー 山内歯科口腔外科 山内 義之 先生

最近、歯周病と全身の病気の関係がよく言われています。そもそも歯周病とは何なのか？少しお話しします。少し歯ぐきが腫れている？朝起きると口の中から血が出ている・・・、最近家族から口が臭いと怒られた・・・。皆さんご経験はありませんか？それがいわゆる歯周病というものです。歯周病は代表的には歯槽膿漏と呼ばれ、歯の周囲の歯肉の炎症や、骨の吸収がみられる病気です。「世界で一番多い病気」で、ギネスブックにも登録され、日本でも20歳を過ぎると8割の人がかかっているといわれています。

肺炎の一つの誤嚥性肺炎は、口の中の歯周病菌が肺の中に入って炎症を起こすものです。糖尿病も歯周病のせいで悪化するリスクが高くなります。心臓の手術をされた方が気を付けなければならない心内膜炎もそのリスクを高めるといわれています。昨年は認知症の悪化にも関係があると報告されています。歯周病の悪化により歯が抜け、かみ合わせが悪くなると転倒のリスクも上がります。

ざっと列記しただけで、関係のある病気はこれだけあります。まずは歯医者さんで歯周病の点検をしてもらいましょう。またご家庭では歯ぐきの炎症を抑えるようなブラッシングをしていきましょう。

マチネーコンサート

※毎月1回日曜日に開催

- 日時 ● 8月27日(日) 14時30分～
- 場所 ● 外来ホール 黄色いピアノ前
- 出演 ● 桑村ティファニー(ヴァイオリン)
志摩穂乃果(クラリネット)
西森亜美(ピアノ)
- 問合せ ● 総務課



両親学級

※毎月第2土曜日開催

- 日時 ● 8月12日(土) 10時～12時
- 場所 ● 3階東病棟
- 内容 ● お産の経過・赤ちゃんとお風呂
- 対象 ● 妊娠22週以降の妊婦とパートナー5組
- 問合せ ● 産婦人科外来
(電話は13時～16時)



夏の公開講座

時間 14時～15時30分 参加費 1回 200円

場所 芦屋市民センター401号室

日程	内容	講師
8月5日(土)	肝機能障害と言われたら	消化器内科 白井 健郎 医師

問合せ：芦屋市立公民館 (0797-35-0700)

糖尿病教室

※毎月第2金曜日開催

時間 13時30分～15時 場所 病棟2階 講堂I 参加費 無料

日程	内容	講師
9月8日(金)	食事療法 ～糖質に注目した カーボカウント法とは?～ 糖尿病と眼の病気	管理栄養士 眼科技師

問合せ：栄養管理室

がんフォーラム2017

— がんと再生医療 —



当院では、市民の皆様を対象に、がんに対する知識の普及、啓発を目的としたがんフォーラムを毎年開催しております。今年は「がんと再生医療」をテーマに、各専門領域の医師が、がんの診断や治療の実際について分かりやすく説明します。事前のお申込みは不要です。多数のご参加をお待ちしています。

日時 平成29年9月2日(土) 午後1時30分～4時

会場 芦屋市民センター ルナ・ホール(定員600名)

プログラム

特別講演

「がん治療における再生医療の応用」

大阪大学医学部消化器外科学

教授 森 正 樹 氏

講演

1 「胃がん・大腸がんの最新内視鏡治療」

市立芦屋病院 消化器内科主任医長 竹村 忠晴

2 「胃がん・大腸がんの最新外科治療」

市立芦屋病院 臨床検査科部長・外科主任医長 三方 彰喜

事業管理者のつぶやき

市立芦屋病院事業管理者 佐治 文隆

る つ ぼ

トランプ大統領が誕生して半年が経ちました。持論に基づいて大統領令による一部移民の排除を試みましたが、連邦裁判所の判断は今のところ異なっているようです。多種多様な民族が混在して過ごす状態である「人種のるつぼ」は多民族国家アメリカを象徴する言葉として使われてきましたが、さいわい今後も変わらないようです。「るつぼ(坩堝)」は英語でmelting potと表現され、高熱を利用して物質を文字通り熔融混合させる耐熱容器を示します。

これに反してわが国は人種に関しては単一民族国家を死守しているように見えます。ところが、こと食に関しては、ちまたに世界各国料理のレストランがあふれ、まさにるつぼ状態と言えます。さらに和風の食材を混合し、食欲に新たな味を開発することにも長けています。一番の例は「あんパン」でしょう。あんパンは創業1869年(明治2年)の老舗パン屋木村屋で明治7年に生まれたといえます。あんと塩漬けの桜を酒種発酵のパン種で包み込むという和洋折衷の思想と味が、当時の人々に受けてわが国を代表する菓子パンになりました。オリジナルのあんはもちろん小豆餡(あずきあん)ですが、今やあんの種類も和菓子に使われる白餡、芋餡、うぐいす餡となんでもあります。またマドレーヌやフィナンシェなど洋風焼き菓子里にまで最近ではあん入りを見かけます。

アメリカに留学していた30年以上前に、アパートの近所に「ピザ・ハット」があって、子供たちとよく行きました。本場イタリアのピザとは似て非なるアメリカ風のいわゆる「パンピザ」です。同僚のイタリア系大学院生などは「あれはピザじゃない」と断言していましたが、トマト味のラガー・ソースにたっぷりのチーズが乗ったばかりかいかピザはまさにアメリカの味で、それはそれで子供といっしょに“Yummy!(うまいっ!)”と

叫んでいました。日本に帰国後数年たって、アメリカからピザ・チェーンが進出し、家庭で宅配ピザが手軽に楽しめる時代になりました。1985年(昭和60年)、東京に出来た「ドミノ・ピザ」がわが国宅配ピザの一号店だそうです。

ところがピザでも、というかピザのトッピングにも和風化が起きました。いつの間にか、じゃがマヨ、明太子、プルコギ、タコサラダ、もち入り等々まるで居酒屋のメニューを彷彿とさせます。ピザの和風トッピングはおかずパンにも波及して、明太子をバゲットに挟んだカスクート、ごぼうサラダや牛スジ煮込みを挟んだサンドイッチなど、次々新製品が生まれます。焼きそばパンに至ってはまるでラーメン・ライスの感覚です。取り合わせの妙で美味しいものもありますから、なんでも取り入れ日本風に咀嚼してしまう国民性がなせる技でしょうか。消費者を飽きさせないように、次から次へと目先の変った商品を開発・投入するコンビニ文化も、この傾向に拍車をかけているようです。

ところで「るつぼ」は何もかもミックスして溶かして均一化するので、多民族が共存するアメリカを「人種のるつぼ」と呼ぶのは正確ではありません。最近ではそれぞれの素材が並立して味を出すサラダの容器になぞらえて、「人種のサラダボウル(salad bowl)」と呼ぶ方がふさわしい表現だと言われます。そういえば和風にアレンジされたピザもパンも「るつぼ」より「サラダボウル」に近い存在です。

アメリカがいつまでも多民族多文化を生かす「サラダボウル」であり続けることを願います。

(2017.8.1)



事業管理者のつぶやきについてはホームページにも連載しておりますのでぜひご覧下さい。

市立芦屋病院 ご案内

●●●●交通案内●●●●

JR 芦屋駅、
阪急芦屋川駅から

TAXI 約7分

バス 約25分
JR芦屋駅、阪急芦屋川駅 のりば2番

徒歩 約30分

※ 病院ネットワークバスもご利用ください【無料】

市立芦屋病院の理念

病院理念
あい(愛)・しあわせ(幸福)・やさしさ(優しさ)

基本理念
芦屋市の中核病院として 地域社会に貢献します
患者の意思を尊重し 最善の医療と癒しを提供します

日本医療機能評価機構 認定施設(3rdG:Ver1.0 一般病院2)

市立芦屋病院

〒659-8502 芦屋市朝日ヶ丘町39-1
TEL:0797-31-2156 FAX:0797-22-8822
ホームページ <http://www.ashiya-hosp.com>